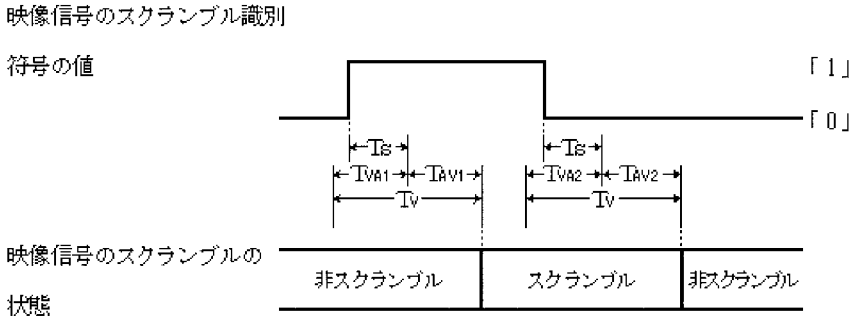
5　音声信号のスクランブルに用いる擬似乱数符号系列は、次のとおりとする。

フレーム行列		擬似乱数符号系列					
		スクランブルに使用しないビット		擬似乱数3		スクランブルに使用しないビット	
				第1音声チャネルの音声標本語のスクランブル用	第2音声チャネルの音声標本語のスクランブル用		
番号	行＼列	1	2	3 … 12	13 … 22	23 … 57	58 … 64
1	1	(P_0)	(P_1)	P_2 P_3 …P_{11}	P_{13}……P_{21}	(P_{23}……P_{56})	(P_{57}……P_{63})
	2	(P_{64})	(P_{65})	P_{66}……P_{75}	P_{76}……P_{85}	(P_{86}……P_{120})	(P_{121} …P_{127})
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
	32	(P_{1984})	(P_{1985})	P_{1996}……	……P_{2005}	(P_{2304}… P_{2940})	(P_{2605}… P_{2047})
2	1	(P_{2048}) ……					
	⋮	⋮		以下同様			……(P_{4095})
	32						
⋮	⋮	(P_{4096}) ……					

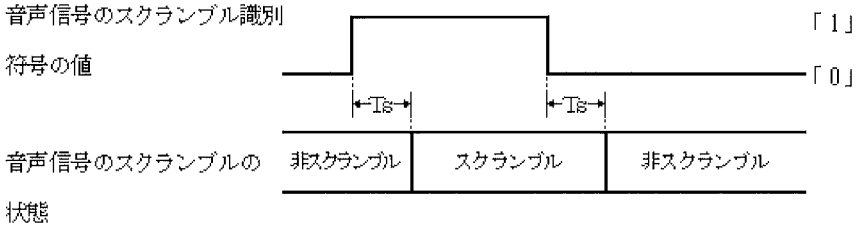
備考1　標本化周波数が32 kHzで第1音声チャネル及び第2音声チャネルを使用したときの例示である。
2　擬似乱数符号系列の生成器に初期値がロードされた時点の別図第五号2の排他的論理和の出力ビットの値をP_0とし、以下iクロックシフトした後の排他的論理和の出力ビットの値をP_iとする。
3　（ ）内は、スクランブルに使用されないことを示す。

別図第六号　スクランブルに関するタイミング

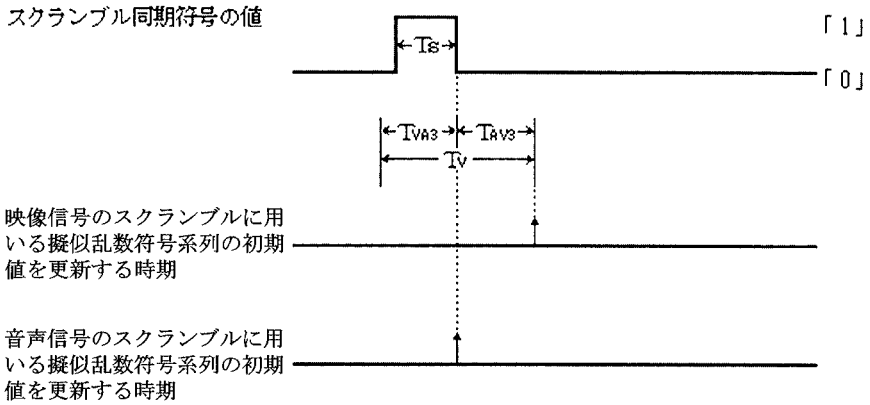
1　映像信号のスクランブル識別符号と映像信号のスクランブルとの関係



2　音声信号のスクランブル識別符号と音声信号のスクランブルとの関係



3　スクランブル同期符号と擬似乱数符号系列の初期化の時期との関係



注1　映像信号のスクランブル識別符号は、フレーム行列の第28行第1列をいう。
2　音声信号のスクランブル識別符号は、フレーム行列の第2列の第8行、第16行、第24行及び第32行をいう。
3　スクランブル同期符号は、フレーム行列の第29行第1列をいい、スクランブル同期（擬似乱数符号系列の初期値の更新時期をいう。）を指示する。
4　T_Sは、1個のスクランブルフレーム（マスターフレームを2等分したそれぞれの符号系列をいう。）の伝送時間を示す。
5　T_Vは、1個の映像フレームの伝送時間を示す。
6　スクランブル同期符号の値「1」を伝送するときは、1個のスクランブルフレーム内で伝送し、連続したスクランブルフレームで連送しない。
7　映像信号のスクランブル識別符号、音声信号のスクランブル識別符合及びスクランブル同期符号の値は、1個のスクランブルフレーム内で一定とする。
8　映像信号のスクランブルの状態の変化及び擬似乱数符号系列の初期化の時期は、映像フレーム単位に行う。
9　T_{VA1}又はT_{VA2}は、それぞれ映像フレームの先頭より映像信号のスクランブル識別符号の値が「0」から「1」又は「1」から「0」に変化したスクランブルフレームの末尾までの時間を示す。T_{VA1}及びT_{VA2}は、5ミリ秒以上とする。
10　T_{VA1}又はT_{VA2}は、それぞれ映像信号のスクランブル識別符号の値が「0」から「1」又は「1」から「0」に変化したスクランブルフレームの末尾より直後の映像フレームの先頭までの時間を示す。T_{VA1}又はT_{VA2}は、5ミリ秒以上とする。
11　音声信号のスクランブルは、各音声チャネルごとに行う。
12　音声信号のスクランブルの状態の変化及び擬似乱数符号系列の初期化の時期は、スクランブルフレーム単位に行う。
13　T_{VA3}は、映像フレームの先頭よりスクランブル同期符号の値「1」が送出されるスクランブルフレームの末尾までの時間を示す。T_{VA3}は、5ミリ秒以上とする。
14　T_{AV3}は、スクランブル同期符号の値「1」が送出されるスクランブルフレームの末尾より直後の映像フレームの先頭までの時間を示す。T_{AV3}は、5ミリ秒以上とする。
15　映像信号のスクランブルに用いる擬似乱数符号系列の初期値は、スクランブル同期符号が伝送された直後の映像フレーム、音声信号のスクランブルに用いる擬似乱数符号系列の初期値は、スクランブル同期符号が伝送された直後のスクランブルフレームにおいて更新する。